

<内容>

☆事業の概況

☆財務諸表

- 貸借対照表
- 損益計算書
- 剰余金処分計算書
- 財務諸表の適正性及び内部監査の有効性
- 法定監査の状況

☆経営指標

- 粗利益
- 経費の内訳
- 業務純益
- 受取利息及び支払利息の増減
- その他業務収益の内訳
- 役務取引の状況
- 報酬体系
- 主要な経営指標の推移
- 預貸率及び預証率
- 貸倒引当金の内訳
- 貸出金償却額
- 有価証券の時価等情報
- 金銭の信託及びデリバティブ等商品取扱
- 資金運用勘定、資金調達勘定の平均残高等
- 総資金利鞘等
- 総資産利益率
- 職員1人当たりの預金及び貸出金残高
- 1店舗当たりの預金及び貸出金残高

☆資金調達

- 預金種目別平均残高
- 預金者別預金残高
- 定期預金種類別残高
- 財形貯蓄残高

☆資金運用

- 貸出金金利区分別残高
- 消費者ローン・住宅ローン残高
- 貸出金種類別平均残高
- 貸出金使途別残高
- 担保種類別貸出金残高及び債務保証見返額
- 貸出金業種別残高・構成比
- 有価証券種類別残存期間別残高
- 有価証券種類別平均残高

☆貸出金の分類

- リスク管理債権及び同債権に対する保全額
- 金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

☆その他業務

- 代理貸付残高の内訳
- 内国為替取扱実績
- 外国為替取扱高（取次実績）

☆経営管理体制

- リスク管理体制
- 法令等遵守（コンプライアンス）体制

☆自己資本の充実に関する事項

- 自己資本の充実の状況



姫路城

事業の概況

<平成 29 年 3 月期の業績概況>

■預金・積金

金融商品に対する顧客のニーズが一層多様化し、預金獲得競争は激化いたしました。個人預金の増強を重点課題として営業活動に努力いたしました結果、期末残高は237,492百万円となりました。

■貸出金

地域経済の停滞により、資金需要が低迷している中、中小企業金融の円滑化に積極的に取組むとともに、新規先の開拓に努力いたしました結果、期末残高は94,471百万円となりました。

■損益状況

厳しい経済環境の下、「収益力強化」のため資金の効率的運用に努めるとともにコストの削減等に努力をいたしました結果、資産の健全化を図るための適正な貸倒引当金の引当を実施したうえでの経常利益は429百万円、当期純利益は269百万円となりました。

■組合員・出資金

期末組合員数は33,974人となり、出資金は1,284百万円となりました。